

国立国会図書館

鳩八幡豆と徳利 : 2巻 207-157

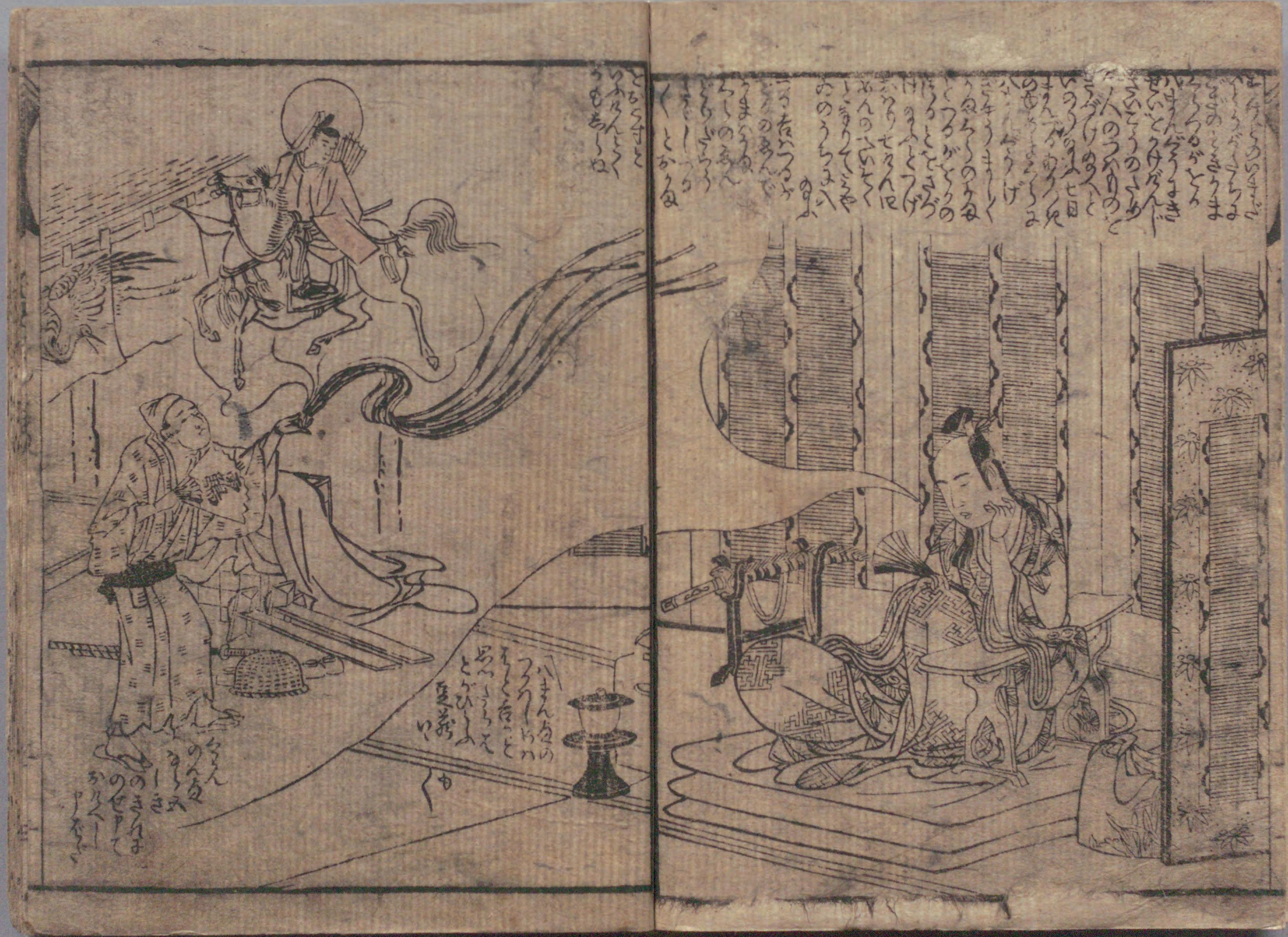
ガラス使用

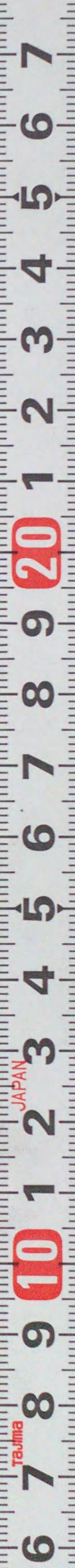


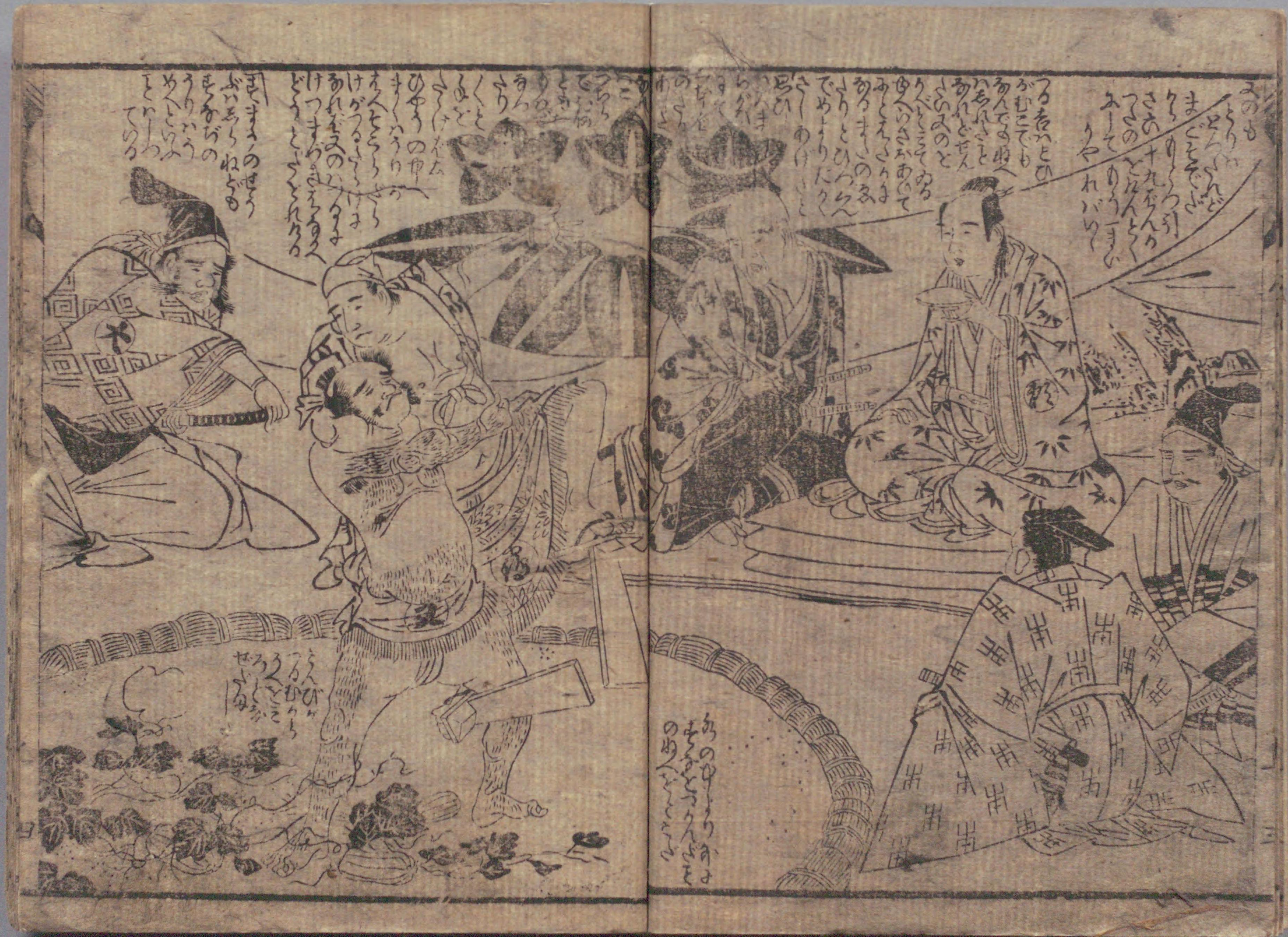
河原

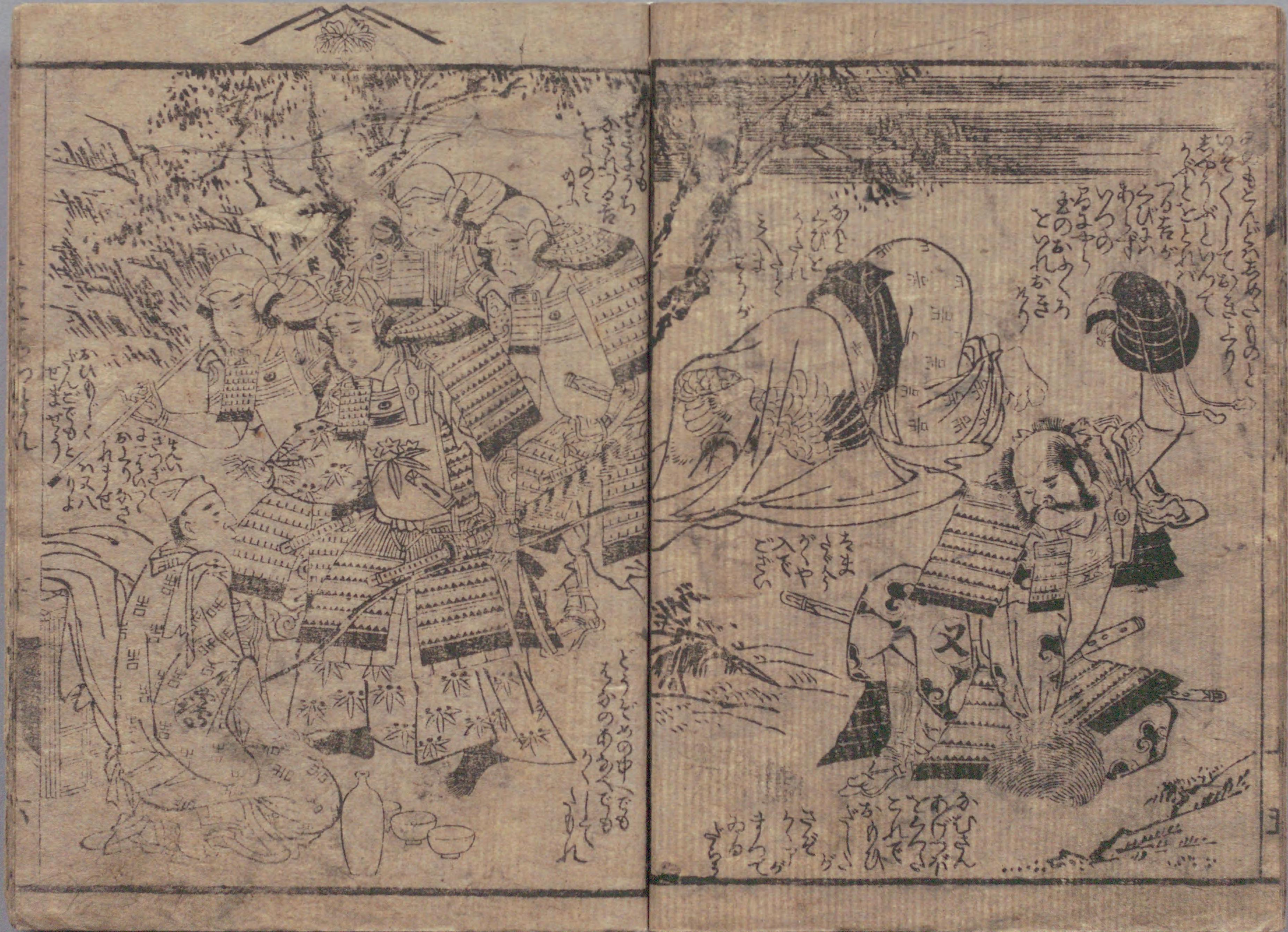
大根の生陰ち印風去池ま白放下階の小刀吞込山乃
 林を山下とふまは路あり言を拾ひ沙とほむ形徳が
 由る陶の如しけり於大木の切品本のうらみ歌を避
 四海とせしめ後山吹色と札と天井とらんこと
 吾の山の空と鳥不鳴の鳥林の尾長をまきり千載の今
 け務とまき山鹿鹿焼耳頼の子供をまきりものを
 あんや老翁老翁も流しおてくもあるとひくとあ
 夫漢村舎が舞臺教よあむん後らまきり方の路をが
 万葉亭好田丁叙

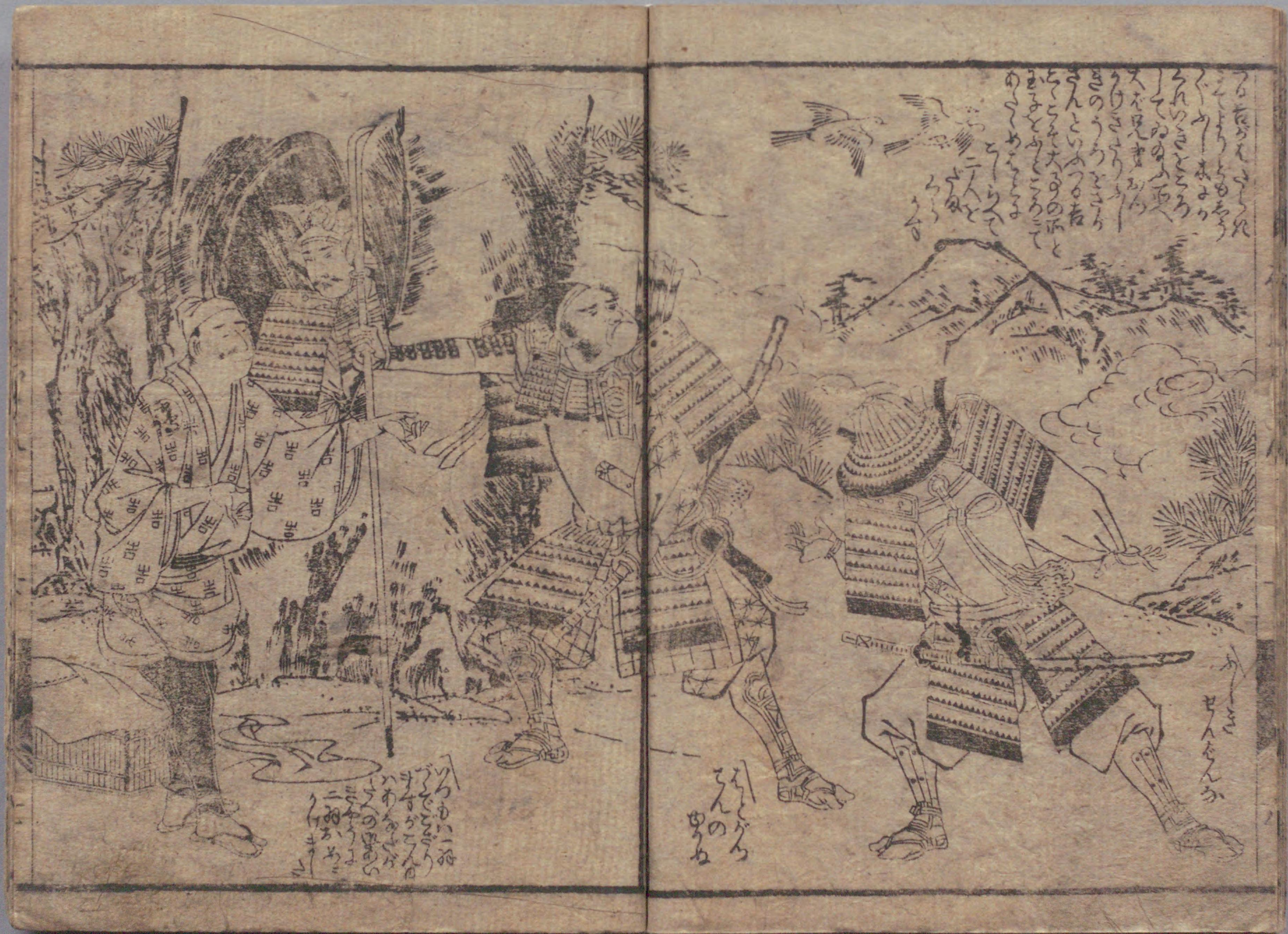






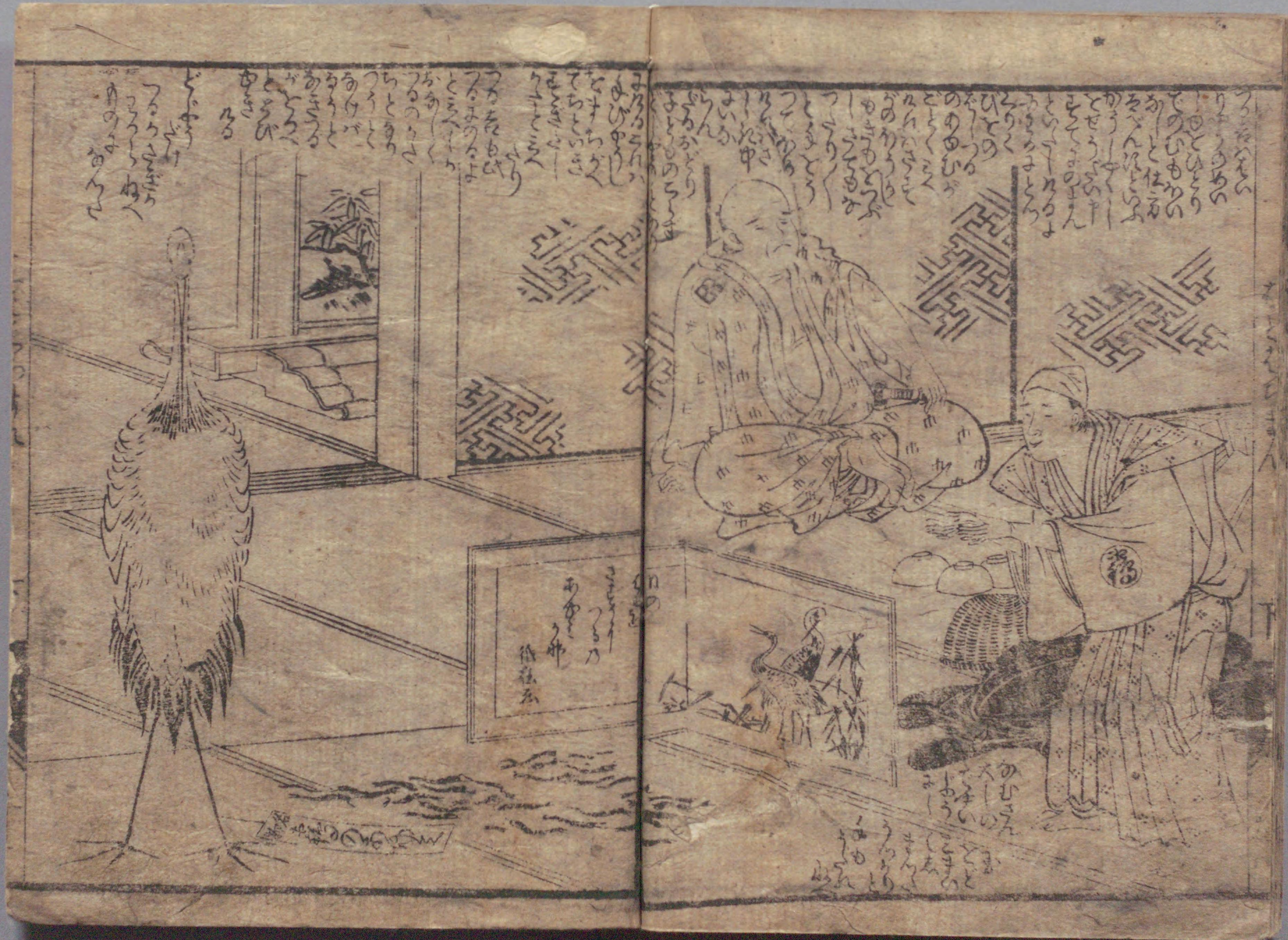




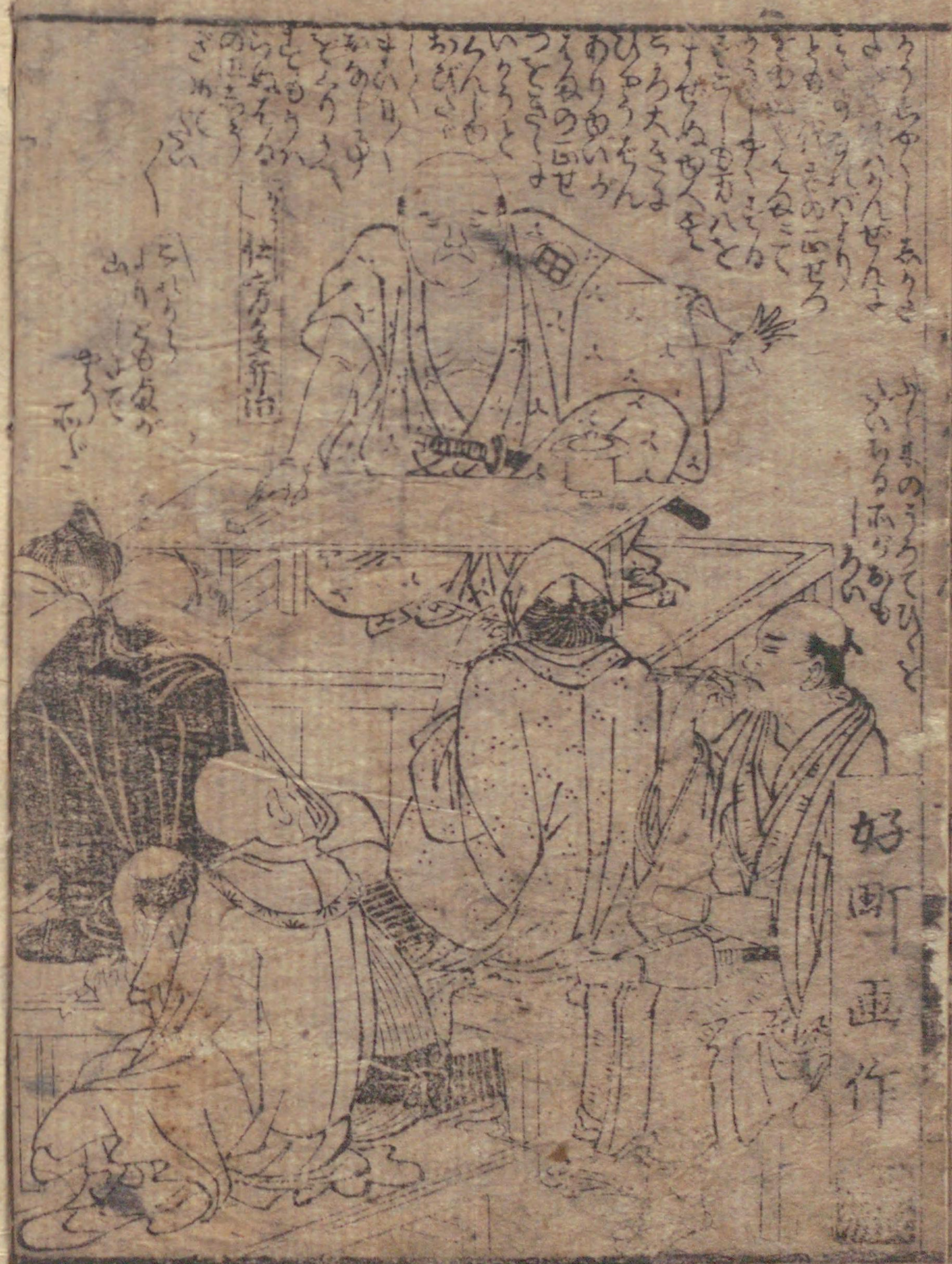


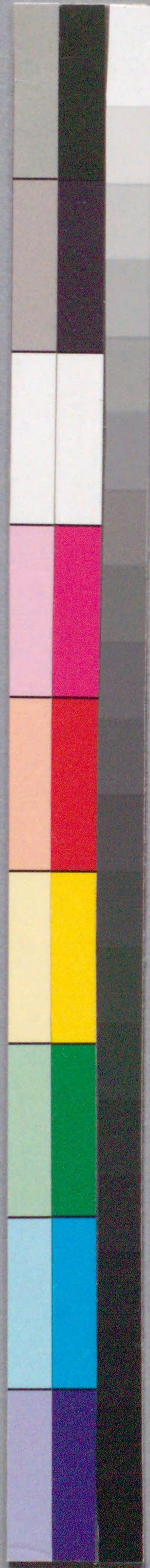






207
157





国立国会図書館 鳩八幡豆と徳利 : 2巻 207-157



ガラス使用

